



下清内路煙火三国の中から



web 写真展サイト

急激な気温の変化に戸惑うこと最近。毎年のことながら清内路煙火から始まり、熊谷元一写真賞コンクール・阿智祭まで少々慌ただしい日々を過ごしました。

今年も10月に開催された上・下清内路煙火の撮影をさせていただきました。上清内路煙火では会場全体の煙火の様子を一枚にまとめられないかと要望を受けたのでチャレンジしてみました。下清内路煙火は協力隊の活動として初めて3年続けて撮影



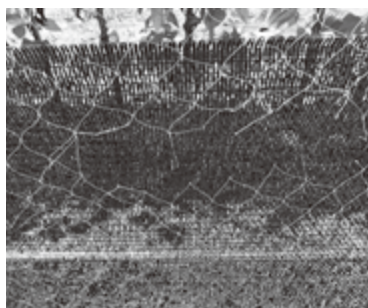
全村博物館構想担当

中田大慈

令和3年
11月号地域おこし
協力隊新聞

上清内路煙火合成写真

する行事になりました。さらに今年是有志会員になり、一緒にきおったりとても貴重な体験もさせていただきました。記録した写真は少しでも多くの方に見てもらえるよう二週間限定のウェブ写真展サイトに10月20日から上清内路煙火(終了)、11月20日から下清内路煙火を掲載しました。お時間あるときにご覧いただければと思います。



ハクビシン被害

今年はサル被害対策パトロールの効果で、サル被害がかなり抑えられたことは前回お伝えしましたが、その後台風の影響で風害が起こり、たくさんのおウモロコシが倒されてしまいました。農家さんにも対応に追われ大変な収穫期だったようです。2年目の試験圃場でも風の影響でトウモロコシが倒され、それを狙ったハクビシンによる被害が起こりました。数本の被害でしたが、サル除けネットがかみ切られて侵入されていました。ネットの下から入られると思っていたのですが60cmほどの高さ



浪合地区担当

伊藤志野

足早に秋が過ぎ、すっかり冬模様ですね。



浪合神社結婚式

からの侵入だったのは予想外でした。このように今後も検証を続けることで対策を取るための情報を得られればと思います。

次に、9月下旬の大雨の後の澄んだ青空の中、浪合神社で結婚式が執り行われました。移住して来られたご夫婦からお申し出いただいたことで実現したのですが、浪合神社では初めてのお式だったそうです。

結婚式のために設えられた本殿はとても素敵でいつもの雰囲気から、より厳かでありながらもあたたかい雰囲気であふれに満ちていました。この様子は阿智家族チャンネルでも配信されるそうです。

未だに新型コロナウイルスの影響もありますが、これから冬本番に向けて健康第一で取り組んでいきたいです。



清内路地区担当

樋上育子

朝晩も冷え込むようになりました。冬が近づいているのでしょうか。

清内路地区では、伝統野菜清内路かぼちゃの収穫を終え、いろいろな方の手に渡っていています。その伝統野菜を少しでも広められるように、インスタグラムで情報を発信したり、伝統野菜を使ったレシピを発信する準備をしたりしています。その中で、清内路かぼちゃを使った粗挽きハンバーグは、かぼちゃの存在感抜群で、食べていただいた地域の方にも好評でした。準備が整い次第、清内路のホームページでも、発信していく予定です。ぜひ試してみてください。ただきたい一品です。



10月初旬には上清内路諏訪神社・

下清内路諏訪神社建神社の奉納煙火が行われました。残念ながら地区内のみでの開催となりましたが、「伝承」という目的で両地区とも行われました。

地域の方々とって、花火は身近なもので、生活には欠かせないもので、長きにわたり本当に大切にしてくられたのだなと随所で感じました。また、この時世の変化により、「続ける」ということがいかに大変で難しいことなのかも実感したところです。

でもそれを続ける原動力はやはり「人」だということもわかりました。伝統野菜もそうですが、人の手によって受け継がれ、今まで続いています。それが「伝承」となるのだと思います。そんな場に立ち合わせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



阿智村産業振興公社

浅井地弥

暑い夏が終わり、最近は一気に寒くなってきました。秋は結構好きなき季節なのですが、毎年短く、すぐに冬が来てしまうイメージがあります。

この時期のキャンプは特におすすめです。真夏では標高の高い場所に行かないと暑くて過ごしにくかったり、焚火も良さが半減してしまいましたが、秋の肌寒い季節では寝袋の温かさを感じることができたり、朝にお湯を沸かして淹れるコーヒーなども、いつもよりおいしく感じられます。しかし、だいたいのキャンパーの一番の楽しみは、焚火を囲んで暖を取りながら飲むお酒や自然の中で食べる料理なのです。

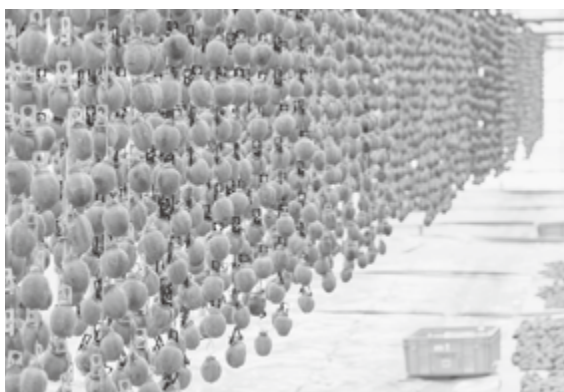
緊急事態宣言も全国的に解除され、僕もこれからキャンプを楽しむと思います。

仕事では、農家をされている方のリアルな話を聞く機会が何度かあり、圃場を見学させてもらえること

もあります。自分の任されている

キュウリは、病気で収量が少なくなっている中でも、農家の方の圃場はとても綺麗な状態を保っています。こういう機会にその秘訣を教えてもらえるのはありがたく、自分も経験を積む中で習得していけたらと思います。

研修圃場では、夏の野菜が8割がた終わり、次は柿の準備が始まっています。柿は市田柿として出荷するため、収穫してから加工して袋詰めまで行うそうです。夏の間に剪定や摘果をしたり、消毒をしてきた柿が、どのような商品になるのか、今後楽しみます。



柿すだれ



阿智村産業振興公社

古山宏樹

移住して3か月が経過しました。

季節の変化を楽しみながら生活をしています。車で村内を走ると田園風景の後ろにどっしりと構えている風景がとても好きです。阿智村は平地が少なく丘陵が多いので棚田のような田んぼが多いと思います。コンバイン等の機械が入りづらいはずですが、それでも丁寧に田植え、稲刈り、されていました。綺麗に管理された田園風景が気持ちよくて写真に収めたくります。丁寧な仕事が阿智村の景観を保っているのだと感じます。

夏から秋にかけて、長雨が続いた為に野菜の収穫に影響がでてしまったようで、ご苦労された方も多かったと思います。一方で雨が多かった為に、松茸が豊作だったとも聞きました。私も便乗して松茸を購入。ホイル焼き、お吸い物でいただきました。香り、味ともに最高でした。言うまでもなく、林檎、梨、ブドウも

大変美味しかったです。都会では食べることが少なかった食材を味わえるのも阿智村生活の楽しみです。家族、友人に松茸やブドウを送ったらとても喜んでくれました。阿智村を知ってもらおうキッカケでもありません。

公社では夏秋キュウリのハウスを有効活用して市田柿の準備に取り掛かっています。私の故郷である宮城県や福島県では「あんぽ柿」が有名で、渋柿のヘタに焼酎をつけて、ビニール袋に入れて熟成させてから食べていました。市田柿とあんぽ柿は作業工程が似ている所があります。地域の気候や風土に合わせた食べ方があるので興味深いです。市田柿は長野県のG（地理的表示）に登録されているブランド商品なので、しっかりと取り組みたいです。これから、冬を迎えるので体調に気を付けて頑張りたいと思います。



阿智☆昼神観光局

佐々木真幸

初めまして。この度、北海道札幌市より阿智村へ、地域おこし協力隊として着任しました佐々木真幸（ささき まさき）と申します。阿智☆昼神観光局の浪合パークにて、星空観察会や各種イベントで活動しています。北海道で活動してきた、自然

観察ガイドボランティアの経験や準星空案内人の知識を生かし、既存の観光資源の拡充や、新たな観光資源の発掘などを行っていききたいと思います。

幼少のころから、星空に興味があり、親があきらめるほど星の図鑑を見ていました。今でもボロボロの図鑑が実家にあります。社会人となっても、星への熱が冷めず、天体イベントがあれば、車でフィールドに出ていました。また、地元札幌にある円山動物園の森で、自然観察ガイドの活動をしていました。植物や昆虫の解説、写真展などのイベント運営、新人ガイド育成などの活動を

行っていました。

これらの経験を活かし、阿智村における星空と自然をテーマに新たなガイドツアーができるような活動をしていきたいと思っています。さらに、阿智村以外の自治体との連携を取り、近畿関西圏以外の観光客誘致にも取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。



浪合パーク外観



浪合パーク内部